

「入学者の受入れに関する方針」(アドミッション・ポリシー)について

(まちづくり工学科)

時代とともに、多様かつドラスティックに変容する私たちの住むまちの質を高めていくためには、まちに対する適切な診断プロセスのもとに、地域特性や住民等の価値観に技術をもって応えられる“まちづくりビジョン”を科学的に導き出せる専門家が必要になります。

とくに近年のまちづくりには、景観・観光・福祉・防災・環境といったキーワードが社会的にも要請されており、それらの専門教育は、従来の土木工学、建築学、福祉学等の既存学問の枠組みを超えた「学際的学問分野」になります。そのため、これを大学教育のなかで体系づけている専門機関は、わが国ではきわめて少ないのが実情です。

まちづくり工学科は、このような社会変化による時代の要請に応えるための教育を目標としており、次の(1)に示す技術者となる希望を持った人材を求めています。また、基礎となる資質として(2)に示す能力を有する人材を(3)に示す考えで選抜しております。

(1) まちづくり工学科の求める人材

- ・実践的思考を通して、安全で魅力的なまちづくりができる、豊かな知識と感性、そして創造力を備えた、まちづくりプランナーやまちづくりデザイナーをめざす人
- ・まちの成り立ち(文化・歴史性等)を科学的に分析し、まちを構成する土木構造物や建築物、公園緑地などを統合的に計画・デザイン・管理することができる技術基盤の習得をめざす人
- ・景観・観光・福祉・防災・環境といった知識をより豊かな人間生活のために活用、統合し、学際性に富んだ、実用性の高い知識の統合をめざす人
- ・まちづくりに必要な法制度・事業制度を背景とした確かな技術と、優れた技術倫理をもって、信頼されるまちづくりプロジェクトの遂行、市民とのワークショップ等が展開できるようなまちづくりプランナーやまちづくりデザイナーをめざす人

(2) 入学者に求める能力

- ・高等学校等における各種の学習内容を幅広く理解している。
- ・工学の基礎学問である高等学校における数学、理科(特に物理)を深く論理的に理解している。
- ・自分の考えを的確に伝えるため、文章や言葉で表現する力を身に付けている。
- ・広い観点から主体的に問題に取り組み、論理的に理解する力を身に付けている。
- ・基本的なコミュニケーション力を身に付けている。
- ・高度な科学・技術の発展に興味を持ち、それを学びたいと考えている。
- ・社会で起こる事柄に日頃から関心を持ち、その問題解決のために貢献したいと考えている。

(3) 高校での学習選抜への評価

- ・工学の基礎学問である高等学校における数学、理科、英語を深く理解していることに対し評価を行う。
- ・既存の土木工学・建築学・福祉学等の学際領域であるまちづくり工学の趣旨を深く理解していることに対し評価を行う。
- ・まちづくりは人と人とのコミュニケーションが大切であり、その能力を素養として持っていることに対し評価を行う。
- ・与えられた課題に対し、主体的に行動できる能力を素養として持っていることに対し評価を行う。